

α-STATION
FM KYOTO 89.4

ROOTS OF DJ

マツモトアキノリ

照れ屋だけど認められたい、ウェッジソール人生



写真は撮影用ポーズ。オンエア中も、真面目な顔で喋っているそうである。その姿がまた、勉強しているような感じとか…

22:00からオンエアの「STARDUST PARADE」が、マツモトアキノリさんの担当である。毎週月～木、いわゆる「オビ」番組を任される花形DJだ。基本的に、生活はα-STATION中心。2時間の番組のために、4時間以上を準備に費やす真面目一徹。「2時間キッチリでつくっている番組なので、前の番組が押しついたりすると少しパニックになります(笑)」。

DJルーツを紐解けば、小学校高学年の頃。JUN SKY WALKER(S)やBAKU、ブルーハーツのシングルCDを束で借りては自分だけのベストテープをつくった。自称「照れ屋な目立ちたがり」な、カラオケ世代でもある。中学に入ると山根康広や小野正利、中西圭三の曲を好んで歌った。「陶醉の世界です(笑)」。

高校時代は進学クラスに籍をおきながら、期末テストを休んでまでホノルルマラソンに参加するほど陸上に青春を捧げた。だが、陸上では人生を支えるリザルトは出ず、職業として目指した小学校教師への夢も途絶えた。「やっぱり歌やな、と」。大学では軽音部に所属。新歓ライブで先輩が歌ったアレサ・フランクリンやジャニス・ジョブリンに憧れたが、何しろ目立ちたがりなのに照れ屋であるがゆえボーカルへの道は遠かった。「引込み思案で前に行けない。先輩がレッチリのフリーヤアンソニーだとして、その中にFolderの三浦大知がいたようなもので(笑)、どうしたらボーカルにしてもらえるか? 呼んでもらえるか? という状態が3回生まで続きました」。その3回生で、突如ボーカルに呼ばれ出す。



α-STATIONでは6年前から番組を担当している。写真はDJとして活動を始めた頃。精一杯のおどけぶり、かな?

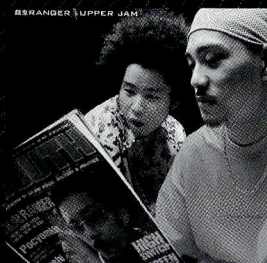
もちろん、そのためにボイストレーニングをしたり、影でガリ勉。「歌うことより、認められることを求めていますね。かなり切実に(笑)。レニー・クラヴィッツ、近藤房之助、スティビー・ワンダー…、声が掛ければ何でも歌いました」。

ところが就活を始めるにあたって、気づいたことがある。「何でも歌う

ということは、音楽的にこだわりがないのかも…。音楽は(仕事するのは)無理やな」と。ライブよりMCを好むようになり、同時に周囲からは声の良さを賞賛された。それがDJへの第一歩だ。

とにかく一事が万事、寄せては引き、引いては寄せる波というか、むしろ上下に浮き沈みというか、ひっくり返したウェッジソールのような人生なのである。就活でアナウンサー志望をDJに切り替える際も、DJ学校に入ってから、「当初不遇、後成功」という波の繰り返しを経験している。間違いなく言えることは、勉強をしても陸上をしても、学生時代にあらゆる音楽を聴いたことで、全ての経験が今につながっているということだ。

一攫千金は無理っぽい。オンリーワンなキャラクターでもない。あるのは生真面目にコツコツと積み上げた知識だ。知識で音楽を語っても良いじゃないか。それがあから、キヨピーやしもぐち☆雅彦さんに「マネはできませんねえ」という憧れを抱きつつも、α-STATIONのオビを任せられ、若いリスナーからの評価を得る、スペシャルワンでいられるのだから。



Rage Against The Machineを憧れとするならば、「僕という人間に合っているのはDIZZY MIZZ LIZZYかも」という大学時代に聴きまくった2枚と、HIPHOPを知るために半ば義務感で聴いたらハマったという餓鬼RANGER

INFORMATION

α-STATIONでは音楽&メッセージキャンペーン「HELLO! KYOTO POWER MUSIC ♪」をスタート! パワープレイヤーアーティストを、CDショップ、映画館、クラブ、ライブハウスなど、あらゆるシーンで音街・京都とつながっている面々で構成されたメンバーにより、各担当月のローテーションを組み、プロジェクトチームを結成。1年間に亘ってキャンペーンソングを2か月ごとにアーティストをピックアップしてゆくもの。第2回目は、凛とした天性の歌声と同時に人々の心に訴えかける力強さを持つ京都出身のアーティスト「和紗(かずさ)」をフューチャー。彼女が発信する繊細ながらも強く心に響くメッセージは、ストリートライブをすれば瞬く間に道路を覆う程の人だかりをつくった。そんな「和紗」のサウンドが京都の街を感動で包み込む!



STARDUST PARADE

毎週月～金 22:00～24:00

DJ:マツモトアキノリ(月～木)、西田育弘(金)

リスナーメッセージを紹介しつつ、スポーツ&エンタメ情報を織り交ぜ、パワフルな展開で2時間お送りするリクエスト・プログラム。J-POPのヒットチューンを中心とした楽曲で分かりやすい内容をリスナーと共有しているのが魅力である。